

# ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

秋  
第127号

2025年11月21日発行



## 晩秋の古社（議員記者撮影）

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| ■ 広報広聴活動（ごてんば線まつりに参加）…………… 2 | ■ 議案の審議結果一覧…………… 10                                 |
| ■ 議員全体管内研修…………… 3            | ■ 意見書、12月定例会の予定、<br>御殿場市制施行70周年「写真でみる議場の変遷」…………… 11 |
| ■ 行政視察報告…………… 4～5            | ■ 小学生議場見学、議長日記、編集後記…………… 12                         |
| ■ 一般質問（9人）…………… 5～9          |   |

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ／図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会  
Gotemba City Assembly

御殿場市議会

検索

YouTube

令和7年9月定例会の  
一部を録画配信します。  
※動画閲覧には通信料がかかります。



ご意見ご質問は  
議会事務局へ  
ふれあいボックス





# 「第19回 ごてんば線まつり」にて シールアンケート調査を実施しました。

御 殿 場 市 議 会

「おしゃべり  
ぶーす」

- 気軽にお立ち寄り  
ください！
- 簡単なアンケート調査を  
行っておりますm(\_)m

開催日：2025年10月13日(月)

開催場所：JR御殿場駅東西通路 特設ブース

回答総数：252名(男性106名、女性146名)

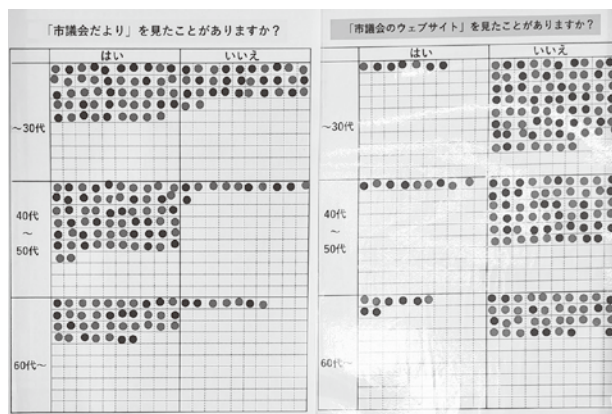
担当時間

8:30~10:30 森 順・小林 昌美・勝又 正人

10:30~12:30 横山 大・高木 理文・小林恵美子

12:30~14:30 池谷 晴一・高村 芳章

14:30~16:30 辻川 公子・後藤 真弥・勝間田幹也



市議会だよりを見たことがありますか？ はい:76.5% | いいえ:23.5%

市議会WEBサイトを見たことがありますか？ はい:14.3% | いいえ:85.7%

議会放映(ケーブルテレビ)を見たことがありますか？ はい:15.6% | いいえ:84.4%

議場(傍聴)に来たことがありますか？ はい:13.1% | いいえ:86.9%

## その他ご意見

土日や夜間議会開催希望(30代女性)

御殿場線の便数を増やしてほしい(60代女性)

小田急線駅のように市が駅に待合室を作してほしい(80代男性)

ごてんば温泉を復活してほしい(50代女性)

御殿場は公園が多くあり良い(40代女性)

御殿場市は財政が豊かでうらやましい(市外50代女性)

スポーツ施設を充実させてほしい(30代男性)

樹空の森へのバスを出してほしい(市外60代女性) ほか

皆さまからいただいた貴重なご意見は今後の広報広聴活動に活かしていきたいと思ひます。  
ありがとうございました。



防災行政無線(本庁舎屋上)



情報政策費(座学)



乙女森林公園

# 議員全体 管内研修



date 2025/09/09

令和6年度の決算に係る事業について、次のとおり  
現地視察を行い、成果の確認を行いました。

情報政策費(座学)

防災行政無線施設更新(固定系)事業(本庁舎屋上)

乙女森林公園改修事業(乙女森林公園)

教育支援センター事業(教育支援センター)

幼稚園防犯カメラ整備事業(玉穂幼稚園)

ふるさと工房改修事業費補助金(ふるさと工房)



教育支援センター



玉穂幼稚園



ふるさと工房





〔視察先：神奈川県箱根町〕  
「議会だより」の充実と広聴活動の充実について

「議会だよりの充実」は、手に取ってもらえる紙面づくりを目指し、議員と市民モニターが共同作業で編集を行い、紙面の充実をはかっていた。

「広聴活動の充実」として、議員がイベントへ参加し、取材や撮影をする「議員活動報告」により、議会だよりが身近に感じられる取り組みをしていた。

〔視察先：神奈川県開成町〕  
「議会出前講座を含む広聴機能の強化・拡充」について

「かいせい町民フェスタ」へ参加し、広報紙・ウェブサイトに関するシールアンケートを行い、広聴活動を推進していた。

「小学校への出前授業」では、議員が小学校へ出向き、児童と対面で「議会」とは何かをざっくばらんに話し合い、質疑応答を行っていた。

議員が動かなければ、関心は持たれない！として積極的な広聴活動を実践していた。  
夏休み期間中、「議場開放」を



行い、町内外を問わず中学生以上が利用できる自習室として議場を活用し、令和6年度実績延べ176名が利用していた。  
積極的な広聴活動と開かれた議会への箱根町・開成町の実践事例を参考に、10月に「ごてんば線まつり」へ参加し、開成町が行っていた議会だよりのシールアンケートを行うこととした。「議員が動く」をテーマに市民の皆さまに身近な議会を目指し活動する。

広報委員長 辻川 公子



〔視察先：兵庫県神戸市〕  
地域ニーズに応えるリカレント教育プラットフォーム構築事業について

神戸市のリカレント教育は、大学生のインターンシップや企業のリスキニング支援も絡めた教育として提供されていて、学びの場の設計からマッチング、支援制度に至るまで積極的に関与し、個人のキャリア形成だけでなく地域の経済の活性化や社会参加の促進にもつながっている。

〔視察先：兵庫県姫路市〕  
生涯学習大学校及び好古学園大学校について

昭和45年に60歳以上を対象とし「好古学園大学校」を、昭和56年に18歳以上の市民を対象とし「市立生涯学習大学校」を開校。隣接した2つの学校を姫路市が運営している。好古大学は、本格的な生涯学習活動により、高齢者の生きがいがつなげられていると感じた。生涯学習大学校は、さまざまな世代がこの学校で一緒に学ぶことで多世代交流が図れ、単

に教育だけでなく防災や防犯対策につながる地域づくりの強化にも寄与すると考える。

〔視察先：兵庫県丹波市〕  
地域学校協働活動について

平成28年から市独自に地域への理解や関心増加を目指し「たんばふるさと学」を推進してきたおり、令和2年から取り組み始めた地域学校協働活動においては主な業務を地域と学校との連携調整としている。共に、地域の人的・物的教育資源を活用した学校支援、地域活性化を目指していて、今後事業の統合化を図っていくとのことであった。

福祉文教委員長 小林恵美子





【視察先：滋賀県近江八幡市】  
認定新規就農者制度について

近江八幡市は耕作面積の90%が水田であり、稲作を中心に麦・大豆が生産されてきた。令和元年に滋賀県・J・A・近江八幡市の3者による園芸振興連携会議を発足し、行政の力だけでなく、生産者や組合自ら考え青年層の新規就農者が主体性を育む地域施策となっていた。

本市も経営力を高めた営農が必要と考える。

【視察先：滋賀県守山市】  
自転車活用推進について

守山市ではモデルとする計画策定事例をリサーチし、成功事例のある「しまなみ海道」を分析し自転車軸とした観光振興に取り組んでいる。本市においては富士山を軸としたサイクリストが来る観光まちづくりが、今後の課題である。

【視察先：滋賀県野洲市】  
創業支援について

野洲市創業塾と窓口相談を連動させていた。プランシートの導入により受講者の計画性や実現可能を可視化できる

ので、開業率の向上に寄与している。

【視察先：滋賀県彦根市】  
市街地再開発／四番町スクエアについて

本事業が全国的に注目されたのは官民一体となった事業で、多彩な補助金で行政が区画整理を行い、第三セクターとして街の中核施設を管理していた。地元の若手後継者が立ち上がり商店街の活性化に取り組んでいた。

今後の当市の駅前開発に取り組む際、成功事例や失敗事例の勉強会や地権者を交えた視察の検討が必要と考える。

経済環境委員長 田代 耕一



一般質問

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。  
※動画の再生には別途通信料がかかります。



勝間田幹也  
みきや  
無会派

箱根山噴火に対する対応について

【問】箱根山が噴火した際の本市への影響について

【答】本市市街地への直接的な影響は、はばかないと考えているが、降灰による事故防止のため、東名高速道路の通行止めやJR御殿場線の運休などが想定される。帰宅困難者が発生した場合「けやきかん」「エピ・スクエア」等を避難場所とする。

【問】箱根山噴火に対する今後の取り組み姿勢について

【答】箱根町との災害応援協定に基づき有事に備え連携をより深めていく。万が一噴火が起きた際には風評被害が起らないように本市への影響がないことを正しく伝えていく。

（仮称）富士山の恵み産業パーク整備事業について

【問】予算規模について

【答】仮に、公設にて施設整備をする場合、過去の類似事業との比較検討に基づき試算すると、約50億円程度の予算規模を想定しており、今後、さまざまな補助金の充当を検討している。

【問】目指すべき姿について

【答】（仮称）富士山の恵み産業パークが、観光客にとって目的地となる施設を目指す。御殿場の明るい未来をひらく重要な施策であり、今後も引き続き、「地域一丸で推し進めるプロジェクト」として、多くの市民の皆さまの声を聞きながら、地元の企業・団体等を含め「オール御殿場」で取り組んでいく。



（仮称）富士山の恵み産業パーク 内観イメージ







田代 耕一  
こういち

至誠



## 御殿場市消防団の団員確保等について

**問** 消防団の定数に対して伺う。

**答** 地域防災の中核として非常に重要な位置づけであり、火災だけではなく、台風や地震等の人命救助・避難誘導や地域の広報等なくてはならない存在のため、現在の定数が必要と考える。

**問** 消防団との連携と、御殿場市消防団活性化対策委員会の委員の変更について伺う。

**答** 消防団は市の管轄下に対し、火防隊は区の管轄下で、地域性もあるが、有事の際の事を考えると、日頃から消防署・消防団・火防隊と連携を考えていく。消防団活性化対策委員会は、委員会を構成する機関及び団体の見直しも併せて検討していく。

## 地域の防犯活動について

**問** 市が管理する施設や道路において、防犯カメラの設置状況を伺う。

**答** 市が管理する小中学校と施設には、防犯カメラを設置している。市全体では約700台を超えている。道路関係は設置を進めていく。

**問** 防犯カメラの設置推進のために、各区に助成金の見直しの検討について伺う。

**答** 物価高騰やカメラの性能も向上し、設置単価も高くなっている。各区の経費負担が大きな課題となっている。来年度当初予算で見直しを行い、設置費の2割相当の補助から8割を目安に補助金額を増額したいと考える。



## 当市の選挙投票率向上の取り組みについて

**問** 投票率が伸びない要因について

**答** 令和6年度実施の市民意識調査では、投票をしない理由について、「投票の場所や投票の仕方がわからない」、「選挙が行われることがわからない」、「との回答が少くないのに対し」、「投票したい候補者がいない」、「自分の票で政治が変わると思わない」との回答が多かった。こうした意識が、投票率が伸びない要因を示していると考ええる。

**問** 期日前投票所の増設について

**答** 現在開設している期日前投票所によって地域的な力バができていくことから、拡大の予定はない。

**問** 不在者投票制度の周知について

**答** 家族の方へ各広報を活用して周知を行い、市外居住者の投票行動につなげていきたい。また、SNSを利



小林 昌美  
まさみ

至誠



用し、あらゆる角度から検討を重ねて周知を図っていく。

**問** 投票所の見直しについて

**答** 各施設や周辺の状況、地域の皆さまの考えは常に変化していく。前例踏襲に固執せず、地域の皆さまの考えを伺いながら、その時々で最適な投票所を模索していく。

**問** 第十一投票所(国立駿河療養所)について

**答** 引き続き状況を注視し、国立駿河療養所と協議しながら、入所者の気持ちに寄り添って判断していく。





森

順 じゅん

無会派  
参政党



## GIGAスクール構想の 本市における現状と今後の 取り組みについて

### 問 施策の進捗状況について

**答** 国のGIGAスクール構想による一人一台端末とネットワーク整備については令和2年度に完了し、翌令和3年度よりスタートした。以降、教育ICTの推進に向けた施策を着実に進めている。

**問** これまでの学習効果の検証について

**答** 定期的に実施している学力テストの結果や、授業中における児童生徒の活動状況などを分析し、その効果を把握する努力を重ねている。

**問** 字を書く機会が減り、文字が丁寧に書けない、長文の読解力の低下、筆圧の弱まりなどを危惧する声を聞いているが、当局の見解は。

**答** デジタル一辺倒ではなく、長文読解は紙の教科書でじっくり読

み、タブレット端末を使って学習した漢字はノートに鉛筆で実際に書いて、安定した文字の濃さの力加減を感じながら練習する指導をするなど、デジタルの時代だからこそ、手書きの機会を大切にしたいと考える。

### 問 GIGAスクール構想の今後の取り組みについて

**答** 学習環境の充実とともに、時代の要請に対応した教育の質的向上を進める。従来のアナログの良さを残す教育活動も並行して行うことで、最新のICTとのベストミックスを図り、児童生徒の健やかな育成を最優先にした教育を推進する。



## ふるさと納税について

### 問 ふるさと納税制度の運用状況について

**答** 御殿場の魅力を全国に発信することを第一の目的として取り組んでいるため、前年度総務省によりルールが厳格化されている中でも、それほど多くの運用変更を強いられない状況が続いている。

### 問 若年層に本制度の利用を促す取り組みについて

**答** 若い世代に比較的人気な返礼品は、市内製のクレンジングオイルや日焼け止めなどの化粧品である。また、体験型返礼品では、野外音楽フェス等のイベントチケットが比較的多く希望されており、今後は「富士山木のおもちゃ美術館」のチケット等が若者に支持される返礼品になると想定される。寄附金は、若い世代を含めた皆さまが応援したいと思える事業に充当し、進捗状況を寄附者に報告することで、リピーター増加につなげていきたいと考えている。



後藤

真弥 しんや

新風  
ごてんば



### 問 ふるさと納税制度の今後について

**答** 令和7年度は、令和6年度の同時期を上回る推移となっている。今後とも昨年度を上回ることができるよう、オール御殿場で取り組んでいく。本市ならではの魅力ある返礼品を提供するために、庁内プロジェクトチームでの検討や市内企業・団体との連携を強化していく。また、モノ消費からコト消費への移行を想定し、本市への来訪者向けの魅力的な体験型返礼品の開発や現地型寄附方式の拡充を進め、御殿場市のファンや関係人口の増加を目指していく。



体験型返礼品【燗燗(くまじょう)】





神野 じん

義孝 よしたか

新風 ぎてんば



## 通学路の安全確保について

各地で依然として登下校中の児童生徒等に車が突っ込む交通事故が発生している。これらは、被害者に非はなく、事故を防ぐため、ソフト面とハード面の対策が不可欠である。

**問** 本市の小学生の登下校中の交通事故は。

**答** 過去5年間においては、交差点での飛び出し等による車・自転車との接触13件、その他7件、計20件であった。

**問** 令和3年9月の合同点検の公表の有無、方法は。

**答** 本市は、調査結果の公表はしていないが、今後、結果だけでなく、対応を含めた公表の方法について検討する。

**問** 本市が策定した子どもの移動経路交通安全推進会議のメンバーによる定期的合同点検が必要と考えるが、見解は。

**答** まず、区長等の要望を基に道路管理者による点検を強化し、通学路点検のあり方について組織体制や

方法を検討する。

**問** 通学路の設定、グリーンベルト設置に関する基準を設けることへの見解は。

**答** 必要な通学路に必要な安全対策が迅速に実施できるよう設置基準は設けず、地域の意見に耳を傾け、安全対策に取り組む必要があると考えている。

**問** 交通指導員の状況・課題・対応は。

**答** 定員50名のところ49名が活動し、課題は高齢化と担い手不足などである。月額報酬の引き上げ、富士山Gコインの活用とともに、広報・啓発活動にさらに力を入れていく。



交通指導員による通学路の安全確保

## 戦後80年、本市の平和事業推進について



高木 理文

まさふみ

無会派 日本共産党



**問** 節目にふさわしい、今年の平和事業についての取り組みを伺う。

**答** 「御殿場市戦没者追悼式・平和祈念式典」において、新たな試みとして、戦争体験語り部の体験報告があり、節目の年にふさわしい式典となった。恒久平和の実現に向けて大変意義のある取り組みであり、次回も県内の戦争体験語り部の方をお願いするように検討している。

**問** 戦争の記録を後世に伝える取り組みについて伺う。

**答** 戦争を物語る民俗資料などを活用した企画展示や、体験談を戦争体験者から聴く機会を設けるなど、戦争の惨禍を正しく伝え、核兵器を含む武力によって生まれる悲惨さを未来へ伝えることは、非常に重要な事項であると認識している。新御殿場市立図書館「ほんてらす」を有効に活用し、機会を捉えてこのような企画展の開催など

を検討して参りたいと考えている。

**問** 平和教育と平和事業を通して平和の大切さを未来に伝えていく取り組みは重要である。節目の年にあたり平和教育に対する教育長の見解を伺う。

**答** 学校教育は、平和について学ぶ大切な場であることを自覚している。「多文化共生と国際交流の推進」が平和教育を支えていく基盤になると考えている。国籍や民族等の異なる人々がお互いの文化的な違いを認め、共に尊重できる社会づくりができるように、未来を担う子どもたちの学びを充実させていく。



2003年12月に「核兵器廃絶平和都市宣言」が採択された。





**勝間田博文** ひろふみ  
公明党



## 空手のまちづくりの推進について

**問** 空手のまちづくりに取り組むことになった経緯について伺う。

**答** 本市では、子どもから高齢者まで幅広い層の方々が空手に親しんでいる。加えて、全国屈指の空手強豪校として御殿場西高等学校空手道部が所在している。また、東京2020オリンピック大会では、イタリア空手代表チームの合宿地に選ばれ、多くの市民がオリンピックと交流を行った。イタリア空手代表選手が金メダルを獲得し、本市への凱旋に際し、市民が世界を身近に感じる貴重な機会を得ることができた。これらをレガシーとして後世に継承していくため「スポーツタウン御殿場」の核の一つとして「空手のまちづくり」に取り組んでいる。

**問** 空手のまちづくりの戦略性、物語性を持った展開について伺う。



**答** スポーツ庁の制度を活用し、取り組みに対するブランディング、マーケティングのアドバイスをいただくとともに副業人材制度を活用している。また本市は、インターハイ空手道競技の2028年の開催誘致をした。その他、現在調整を進めている名古屋大学と産学官連携し、科学的見地から空手の動作における「骨格の動きや呼吸の変化を可視化した心身への効果」を研究する取り組みを進め、この研究成果を活用しパフォーマンスの向上や市民のスポーツの習慣化、さらには市民の健康増進につなげ、地域社会における幸福感や満足感の一層の向上を目指す。



**辻川 公子** きみこ  
無会派



## 単身高齢者の緊急時の支援に必要なサポート体制について

**問** 一人暮らしの65歳以上の高齢者が増加の一途となる中、一人暮らしの高齢者の方の不安の現状はどうか。

**答** 「健康や病気」を挙げた方が約58.9%と最も高い。

**問** 「緊急事務管理」の他市の導入状況を鑑みて、本市の制度設計の検討はどうか。

**答** 家族の支援が望めない高齢者に対し、自治体が生命・財産の保護を図るために行う「緊急事務管理」の運用は大きな課題である。調査・研究に努め、新制度に向けて取り組む。

**問** 緊急連絡先や死亡後手続きの「事前登録制度」、「終活情報事前登録制度」を静岡市に続いて県内2番目に本市も制度設計をしてほしいが、いかがか。

**答** メリットと課題を踏まえ、制度の構築の必要がある。



三島楽寿園「こども水遊び広場」

**問** 市や社会福祉協議会への遺贈の受け入れ制度の体制作りは重要だと思うが、いかがか。

**答** 寄付者の遺言のご遺志に沿う体制作りと周知に努める。

## 酷暑の夏に子どもが集えて遊べる水辺の公園について

**問** 中心市街地にある「中央公園」や新橋浅間神社内「せせらぎ公園」に、三島楽寿園「水遊び広場」以上の水遊び広場を提供できないか。

**答** 水遊び場所や水鉄砲遊びの提供場所を検討する。



# 定例会で決まったこと

## 議案の審議結果一覧



9月 定例会

議案書等資料については  
ホームページに掲載しています

全会一致で可決等された議案	
決算 [5件]	令和6年度御殿場市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度御殿場市上水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
	令和6年度御殿場市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
	令和6年度御殿場市簡易水道事業会計決算認定について
	令和6年度御殿場市公設浄化槽事業会計決算認定について
予算 [3件]	令和7年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について
	令和7年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
	令和7年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第1号)について
条例 [5件]	御殿場市議会議員及び御殿場市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例等の一部を改正する条例制定について
	御殿場市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について
事件議決 [4件]	(仮称)原里市民の森整備工事請負契約の締結について
	新御殿場市立図書館等屋内備品の取得について
	防災行政無線施設(簡易型戸別受信機)の取得について
	令和5年度第75号新御殿場市立図書館等建築工事請負契約の変更について
同意	御殿場市教育委員会委員の任命について
議員提出議案	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置等を求める意見書の提出について
報告 [6件]	令和6年度御殿場市一般会計等健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率について
	御殿場総合サービス株式会社の経営状況について
	債権放棄の報告について
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅家賃等の請求に関する訴えの提起について)
請願 [2件]	「森の力再生事業の継続を求める意見書」の提出を求める請願(撤回)
	政府に対して給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置等を求める意見書の提出を求める請願

### 賛否が分かれた議案

○…賛成    ×…反対  
※議長(永井 誠一)は採決に加わりません。

	高木 理文	森 順	阿久根 真一	永井 誠一	後藤 真弥	芹澤 勝徳	小林 昌美	横山 大	辻川 公子	池谷 晴一	菅沼 芳徳	高村 芳章	川上 秀範	中島 宏明	小林恵 美子	勝間田 博文	勝間田 幹也	勝又 正人	林 義浩	神野 義孝	田代 耕一
令和6年度御殿場市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度御殿場市救急医療センター特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度御殿場市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度御殿場市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	※	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度御殿場市公共下水道事業会計決算認定について	認定	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度御殿場市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算認定について	認定	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



[提出先] 衆議院議長/参議院議長/内閣総理大臣  
文部科学大臣/農林水産大臣

意見書

9月定例会で採択された

## 「給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置等を求める意見書」を提出しました。

01

給食無償化の実施にあたっては、物価高騰等の影響により給食の質や量が低下することのないよう、地方自治体間で格差が生じないよう地方交付税措置による対応ではなく、国による適切な制度設計と十分な予算措置を講じること。

02

地産地消の推進、食育の充実、有機食材の使用拡大など、質の高い給食を安定的に提供できる体制を構築すること。

03

長期欠席の児童・生徒や、学校外で学ぶ子どもたちにも給食無償化の恩恵が及ぶよう、柔軟かつ実効性のある支援制度を整備すること。

意見書全文は  
こちらから  
ご覧ください。



国による給食無償化の実施にあたっては、全ての児童・生徒の健やかな成長を促す上において、給食の質及び量の担保を可能とする十分な予算措置を講じるとともに、自治体格差が生じないよう上記の事項について特段の取組を強く求める。

御殿場市制施行70周年

## 写真でみる議場の変遷



【旧庁舎の議場】昭和35年頃



【本庁舎の旧議場】平成4年頃



【東館の議場】現在

### History



いずれの日も傍聴することができます。  
当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしております。  
傍聴託児サービスも実施しておりますので、ご利用の場合は、傍聴希望日7日前までにお申し込みください。

16 火	11 木	10 水	9 火	26 水
付託議案・追加議案 審議採決	一般質問	一般質問	一般質問	提案理由説明・条例・ 補正予算等審議

12月  
定例会  
の予定

12月 定例会  
11/26~12/16 (21日間)  
時間はいずれも 午前10時~



# 議場見学

元気いっぱいの玉穂小学校の  
皆さんが議場見学に来てくれ  
市議会の仕組みについて  
真剣に聞いてくれました。

議長就任以来、市議会議員全員で市民の皆さまに寄り添った開かれた市議会を目指し、議員研修また議会改革特別委員会を通じての研究・研さんを重ねてまいりました。議会改革はまだ道半ばではありますが、今後議員のおのの資質の向上はもとより、委員会機能・広報広聴機能の充実に努めてまいります。

御殿場市議会議長 永井 誠一



## 議長日記



## 編集後記

市議会では、市民の皆さまに市議会の活動や取り組みを知っていただくために、委員会や会派での報告会などを開催してまいりました。

広報委員会といたしまして、広聴機能の強化・充実を図る目的で視察研修等の研究を重ねてまいりました。その結果、今年度は「ごてんば線まつり」において市議会ブースを設置し、市民の皆さまの声を直接伺いました。また、市議会だよりのレイアウトにつきましても、多くの他市町の議会だよりを参考にして、枠外に発行月を掲載するなどの変更を行いました。

今後も市民の皆さまに読んでいただける市議会だよりをお届けできるよう取り組んでまいります。

広報委員 高村 芳章

## 御殿場市議会広報委員会

〈委員長〉辻川 公子

〈副委員長〉横山 大

〈委員〉

高木 理文／森 順／後藤 真弥  
小林 昌美／池谷 晴一／高村 芳章  
小林恵美子／勝間田幹也／勝又 正人



発行/御殿場市議会

編集/広報委員会

御殿場市萩原483 TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/有限会社 戸塚印刷所